

美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
評価・検証シート

平成28年7月22日

《基本目標①》本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する

No.	具体的な事業	①本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった		②本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	検証委員からの意見
1	美馬市認定生産者ブランディング事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・認定生産者の増加がブランド商品の品目や生産量の増加につながるよう、マーケティング面での支援事業を期待します。 ・事業の概要では、生産拡大と販売額増加を目指すとなっているが、目標は生産者数。目標は出荷額あるいは販売額であるべきではないか。 ・今後は認定された生産者が生産する農産物の数や販売額を目標にした方がいいと考えます。
2	美馬市産農林産物特選ブランド販売促進事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド認定は地域ブランド戦略のスタートですが、ブランド認定数を増やすことがゴールではなく、最終的には「売れるブランド」「競争力の高いブランド」を目指す取り組みを進めてください。 ・事業の概要→ロゴ等の統一が目的か。
3	「かあちゃん野菜」生産・販路拡大事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・商標登録は必要ないのか。 ・生産者数の拡大、1人の生産者の額の拡大、販路拡大等の内訳を把握しているか。
4	ふるさと小包販売拡大支援事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い取り組みだと思います！県人会・同窓会などの開催の折にどんどんPRしてはいかがでしょうか。 ・WEBサイトを見る限り、ブランディング促進事業などとリンクしていない。サイトを構築しただけとしか思えない。
5	農産物等集出荷・買い物支援事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の用途は何か。 →予算がなくなった場合継続可能か。
6	みま木材普及新流通システム構築事業			○	<ul style="list-style-type: none"> ・林業資源は美馬市の大切な地域資源ですが、その認知度は決して高いとは言えません。PRの相手、機会を絞って、とにかくまず建築実績をつくり、モデル化することが重要と考えます。 ・流通システム構築とあるが、なにが流通システムか。 ・継続的な営業活動が必要→行政が出来るのか。 ・美馬市ははじめ県内での認知度はどうなのか。 ・美馬市内や徳島県内みま木材を使用した住宅を建築して貰い、その住宅を利用して買って県外の施主や消費者にアピールするのはどうか。
7	インバウンド対応事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・年間目標宿泊者数の数的根拠を明確にするとともに、訪れた外国人観光客が有効な情報発信者(発信源)としての機能を担ってもらえるような仕掛けが必要だと思います。インバウンドに対して「東京でも京都でもない、美馬市ならではの魅力」を発信するビジュアル的なHPやFBの充実も求められます。 ・外国語のページでもまず目に入るのは日本語。また、単に日本語を翻訳しただけで、見る人の視点がない。リンクも単に引っ張っただけか。 ・動画閲覧回数がなぜ目標に達しなかったかを検証して、増やすための具体的な施策を検討ください。
8	徳島剣山世界農業遺産推進事業[広域連携]	○			<ul style="list-style-type: none"> ・認定を受けるためには地道な努力が必要。
9	にし阿波「日本版DMO」構築推進事業[広域連携](にし阿波観光圏整備事業)	○			<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行に加えてグリーンツーリズム、ヘルスツーリズム等の誘致についても積極的に勧めてはいかがでしょうか。民泊や空き家利用などにかかる規制はありませんが、特区申請も視野に入れて、「ホームステイのまち・美馬」をアピールするのも面白いと思います。 ・広域連携の中で、美馬市の役割を明確に認識すべき。 ・平成27年度の達成率は、目標をやや下回っている。平成28年度は、原因を確かめて、十分検討した施策を実施してください。
10	うだつの町並み再生プロジェクト推進事業	○			<ul style="list-style-type: none"> ・入込み客数の増加は、事業の成果か。

《基本目標②》本市への新しいひとの流れをつくる

No.	具体的な事業			検証委員からの意見
		①本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった	②本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	
1	UIJターン就職支援事業		○	<ul style="list-style-type: none"> ・UIJターンフェアの実施において、ターゲットを絞ることが最も大切だと思います。ターゲットに応じた場所と時期を設定することで、PRするポイントも違ってきます。また、あまり堅苦しいブース説明形式よりも、美馬市の特産品食材で作ったランチを食べる会など、楽しい雰囲気の設定も有効ではないでしょうか。 ・見合いと同じ。お互いの情熱が不可欠。受け入れ側に、事業に適した人材とノウハウが必要。形だけでは成立しない。 ・美馬市内の企業が元気である必要がある。そのサポートも必須と考える。
2	移住おむかえ事業	○		
3	サテライトオフィス誘致事業	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情熱と人の繋がりが不可欠。そして企業側にもメリットがないと、誘致は困難。どのように美馬をPRするか。アドバイザー委託事業は、委託先に何を期待しているのか。
4	にし阿波・地域連携ビジネス創出支援事業〔広域連携〕	○		
5	シニアパワーの活用を通じた「生涯活躍のまち」(美馬市版CCRC)推進事業	○		<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流する新しいまちづくり(エリアづくり)として例えば介護施設や保育施設を単独で新規に建設する場合の規制を見直し、介護・看護と保育の共有スペースの設置など柔軟なコミュニティ設計が必要だと考えます。さらには、高い技術と知識を持ったシニアの「ナレッジシェア」モデルも、美馬市モデルとして構築すれば全国にアピールできる材料になることでしょう。シニアの移住に際しては、移住時の年齢や健康状態、住所地特例などまだまだ課題は多いですが、「CCRC先進地・美馬」を目指す役割は大きいと考えます。 ・先進事例を参考に美馬市独自の独創性のある事業として頂きたい。
6	大学等フィールドワーク調査・研修支援事業	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「フィールドワークするなら美馬市において！」と全国の大学にPRしましょう。そのためにも特徴ある宿泊施設や若者向けメニューもアピールしましょう。 ・受け入れ人数は増加しているか。
7	高円宮牌グラススキージャパンオープン開催支援事業	○		<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ来訪者が計画より多かったのか。一日でも多く宿泊したり、一層の消費を催す施策を行ったか。 ・広い敷地があり、集客力があると思われる「四国三郎の郷」の有効活用を検討したらどうか。

《基本目標③》若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

No.	具体的な事業			検証委員からの意見
		①本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった	②本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	
1	「子育て支援企業表彰」事業	○		・県の「はぐくみ支援企業認証制度」との連携はどのような状態か。
2	まほろばめぐりあい事業	○		・美馬市単独での成果が難しい状況であれば、県の「とくしまマリッジサポートセンター」との連携で事業計画を立ててはいかがでしょうか。町歩き(県内外観光地)によるスタンプラリーやキャンプ、料理など、カップルで共同作業ができる企画も良いのではないのでしょうか。 ・イベント的なものではなく、より対象を具体的にした婚活が必要ではないか。
3	不妊治療費助成事業	○		
4	育児用品購入補助事業	○		・とても嬉しい事業ですので、広報の機会を増やせば利用者は増えると思います。
5	満1歳誕生日記念品事業(ウッドスタート事業)	○		
6	みまっこはぐくみ多子世帯支援事業	○		

《基本目標④》時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

No.	具体的な事業			検証委員からの意見
		①本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった	②本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	
1	消防団支障木伐採事業(まほろばクリーン作戦)	○		・団員の何%が参加したか。 ・団員の増加につながる施策とリンクさせられないか。
2	木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業	○		・とても素晴らしい取り組みだと思います。特に山間部に暮らす高齢者の健康と暮らしの見守りシステムとしては、全国にPR出来るものだと思います。 ・指示通りの服用が出来ている、余分な薬の処方なくなった…等の評価は出来ないか。 ・服用サポートと大学生と高齢者との交流は、事業を分けた方がよいのでは。
3	タブレット教材活用保健指導充実事業	○		・指導側のスキルアップ研修の達成度も目標になるのでは。